

令和5年（2023年）3月28日

報道関係 各位

真庭市役所

## 第2回 SDGs 岩佐賞を「真庭なりわい塾」が受賞しました NPO 法人共存の森ネットワークと 共同で受賞会見を開催します

日時▶ 令和5年4月7日（金）午前10時～11時

場所▶ 真庭市役所 応接室（本庁舎3階）

真庭市は受賞者であるNPO 法人共存の森ネットワーク（理事長 渋澤寿一）と共に2016年から、真庭をフィールドに、これからの農山村と新たなライフスタイルを模索する「真庭なりわい塾」を行ってきました。この度「真庭なりわい塾」の活動が第2回 SDGs ジャパンスカラシップ岩佐賞（経済の部）を受賞しましたので、共同で受賞会見を行います。

つきましては、取材くださいますようお願いいたします。

### 概要▶

1.日 時 令和5年4月7日（金）午前10時～11時

2.場 所 真庭市役所 応接室 本庁舎3階（真庭市久世2927番地2）

3.スケジュール 午前10時開会

開会挨拶 真庭市長 太田昇

受賞者挨拶 NPO 法人共存の森ネットワーク理事長 渋澤寿一 氏

「真庭なりわい塾」のご案内 同NPO 理事 吉野奈保子 氏

質疑応答

5.その他 ・当日はオンライン配信も行います。オンラインでの参加希望の方は、下記メールアドレスにてお申込みください。折り返し、配信アドレスをお知らせします。

メール：[koryu@city.maniwa.lg.jp](mailto:koryu@city.maniwa.lg.jp)

・「真庭なりわい塾」は、現在、第7期（次年度）に参加する塾生を募集しています。



第6期生卒塾式の様子

### お問い合わせ先・発信元▶

真庭なりわい塾実行委員会事務局

総合政策部交流定住推進課内（担当 植田）

TEL0867-42-1179

FAX0867-42-1353

## 第2回SDG s 岩佐賞を「真庭なりわい塾」が受賞

～岡山県内の活動では初受賞。真庭市にて受賞会見を開催～

これからの農山村と新たなライフスタイルを模索する「真庭なりわい塾」が第2回SDG s ジャパンスカラシップ岩佐賞（経済の部）を受賞。4月7日（金）に真庭市本庁舎にて受賞会見を開催します。（オンライン参加可能）

目の前の課題に真摯に向き合い、SDGsの達成に向けて地道に活動を続けている人たちを応援したい—そんな思いから公益財団法人岩佐教育文化財団が設立した「SDGsジャパンスカラシップ岩佐賞」の第2回受賞者が2023年3月28日に公表されました。岩佐賞には、医療、教育、福祉、環境、経済、平和・人権、芸術、農業の8部門があります。その中の「経済の部」で、岡山県真庭市と共に『真庭なりわい塾』を主催するNPO法人共存の森ネットワーク（理事長 渋澤寿一）が受賞しました。



活動名：真庭なりわい塾～ローカルから探究する、これからの生き方・働き方～

部門：経済の部 団体名：NPO法人共存の森ネットワーク 賞金：100万円

渋澤寿一氏は、明治の大実業家・渋澤栄一の曾孫にあたります。真庭市では、木質バイオマスを活用した産業づくり、地域づくりに長年尽力し、2016年より、「真庭なりわい塾」を真庭市と協働で実施。同塾の塾長を務めています。



「真庭なりわい塾」は、現在、第7期（次年度）に参加する塾生を募集しています。

そのご案内も含め、下記のとおり、受賞者による報告と記者会見を開催いたします。

日時：2023年 **4月7日（金）** 午前10時～11時

場所：真庭市役所 応接室（本庁舎3階）

内容：開会挨拶  
受賞者挨拶  
「真庭なりわい塾」のご案内  
質疑応答

真庭市長 太田昇氏  
NPO法人共存の森ネットワーク理事長 渋澤寿一氏  
同NPO理事 吉野奈保子氏



渋澤寿一氏

申込み：4月5日（水）までに下記事務局までご連絡ください。

※当日は、**オンライン配信も行います**。オンラインでの参加をご希望の方は、必ずメールにてお申込みください。折り返し、配信アドレスをお知らせします。

〔お問合わせ・お申込み先〕

真庭なりわい塾実行委員会事務局（真庭市交流定住推進課内 担当：植田）

〒719-3292 岡山県真庭市久世2927-2 電話：0867-42-1179 Fax：0867-42-1353

メール：[koryu@city.maniwa.lg.jp](mailto:koryu@city.maniwa.lg.jp)

※現地取材やインタビューなどを希望される方は、別日の調整も可能です。担当者にご相談ください。

**主催：真庭なりわい塾実行委員会（岡山県真庭市／真庭市中和・北房地区／NPO法人共存の森ネットワーク）**

真庭なりわい塾公式サイト <https://maniwa-nariwai.org/>



「地域をあるく・みる・まき」

### ■岡山県真庭市とは

岡山県真庭市は平成17年3月に9町村が合併して誕生しました。人口は5万人弱。面積の約8割が森林です。持続可能な林業経営とバイオマス活用により、地域エネルギー自給率は30%を超えるなど「里山資本主義」の先進地として全国から注目を集めています。塾のフィールドは、真庭市北部の中和（ちゅうか）地区と、南部の北房地区。いずれも生物多様性豊かな、里山と田畑が広がる地域です。



振り返りと発表

### ■真庭なりわい塾とは～「買う」から「つくる」暮らしへ～

私たちの暮らしは、高度経済成長期を境に大きく変化しました。若者は農山村から都市へと流出し、食料やエネルギーの多くを海外に依存するようになりました。環境破壊は加速し、経済格差も拡大しています。衣食住はもちろん、暮らしの安全や安心さえも、お金で「買う」のが現代の暮らしです。

かつての日本人の暮らしは、身近な自然とコミュニティに支えられながら「つくる」ものでした。「百姓」という言葉に象徴されるように、多種多様な生業（なりわい）を組み合わせて働き、世代をつないできたのです。



塾生同士のディスカッション

「真庭なりわい塾」は、農山村の暮らしに学びながら、これからの持続可能な生き方・働き方を模索する場です。食料やエネルギーをある程度は自給する、季節ごとに複数の仕事を組み合わせながら働く、地域の困りごとを仕事に変える、地域資源を生かしたスモールビジネスを立ち上げる——そんな選択肢が、私たちにはあるはずで

### ■塾のプログラムと参加者

塾は、約8カ月間にわたって毎月1回、土日に開催します。農山村の暮らしへの理解を深めるとともに、塾生は個々の「なりわい」をイメージし、キャリアデザインを描きます。2年目（参加は任意）は、地域の課題解決に取り組む実践形式での学びです。

塾生の多くは20代後半から40代で、岡山県内はもとより、関西・中四国など広範囲から参加しています。

2016年の開講以来、これまでに120人以上が当塾で学んできました。そのうち、真庭市にI・Uターンした人は10人以上。ほかの農山漁村に移住したり、コミュニティ・ビジネスを立ち上げたりと、新たな一歩を踏み出した卒塾生も大勢います。どこで、誰と、何をするのか。これからのライフスタイルを一緒に考えてみませんか。



塾ではこんな力を養います

### 渋澤寿一・塾長の紹介



東京農業大学大学院修了後、JICA専門家としてパラグアイに赴任。帰国後、循環型都市ハустテンボスの企画・建設・運営に携わる。環境問題を解決するのは、テクノロジーではなく、人の心だと痛感し、NPO活動に転身。NPO法人共存の森ネットワーク理事長として農林水産省・文部科学省・環境省等と共に全国の高校生が森・川・海の名人を「聞き書き」する『聞き書き甲子園』を主催。真庭市では木質バイオマスを活用した産業づくりや地域づくりに長年携わってきた。公益財団法人 真庭エスパス文化振興財団理事長。明治の大実業家、渋澤栄一の曾孫にあたる。

### 「第7期」塾生募集中！



次年度（第7期）は、真庭市北房地区で開催します。  
期間：2023年6月～2024年1月まで  
日程：全8回（毎月土日開催）  
定員：20名程度 受講料：2万円（学生1万円）  
応募締切：5月18日（木）必着  
申込み：下記、ウェブサイトの応募フォームより

**4月22日（土）に岡山、23日（日）に大阪で塾の説明会を兼ねた「プレイベント」を開催します。**  
スペシャルゲスト：伊藤洋志氏（LLPナリワイ代表）  
詳細はこちら <https://maniwa-nariwai.org/>